

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 30 日 作成

総合計画体系	事務事業名	権利擁護業務			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	高齢者支援課	担当者名	大島多美子
	基本事業	73	人権相談体制の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2118
					法令根拠	介護保険法第115条の44 高齢者虐待防止法			

予算科目	会計	30	款	11	項	2	目	3	事業連番	10900	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11	コスト削減優先度評価結果	6*31
------	----	----	---	----	---	---	---	---	------	-------	----------------------------------	-----------------------------------	-----------	----	--------------	------

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
【事業の内容】
 適切なサービス等につながる方法が見つからないなど困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のため必要な支援を行う。
【業務の流れ】
 (ア) 成年後見人制度の活用(イ) 高齢者虐待への対応(ウ) 困難事例への対応(エ) 消費者被害の防止
【主な予算費目】
 報酬・役務費

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 虐待(疑い含む)通報、相談への対応 市長による成年後見開始の審判申立 その他消費者被害防止への対応	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同じ
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)件 → アイ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 権利の侵害が予想される高齢者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)人 → アイ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 高齢者の権利保護	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)人 → アイ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 見守られ、悩み等を解消できる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)件 → アイ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円	39	17	75	25	86	86	86	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間限定複数年度のみ記載)
	都道府県支出金	千円	20	8	37	12	43	43	43	
	地方債	千円								
	その他	千円	41	9	35	12	43	43	43	
	繰入金	千円		8	37	13	43	43	43	
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	100	42	184	62	215	215	215	
人件費	うち指定経費	千円								22 年度
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	正規職員従事人数	人	1	2	2	3	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	150	200	300	386	350	400	400	
	(B)人件費計	千円	596	796	1,194	1,536	1,393	1,592	1,592	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	696	838	1,378	1,598	1,608	1,807	1,807	

活動指標	件	6	9	10	9	12	14	14
対象指標	人	2	6	10	5	12	14	14
成果指標	人	6	6	10	5	12	14	14
上位成果指標	件	200	142	220	135	240	260	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 平成18年度から介護保険法の改正と高齢者虐待防止法の制定による

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 高齢者の人権についてきめ細かい配慮が行われるようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 家族単位が小さくなったことによる問題解決能力が低下している。それとともに行政関与の要望は増えている。

事務事業名	権利擁護業務	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において、安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点からの支援を行うことであり法に照らしても整合性は取れている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 介護保険法・高齢者虐待防止法、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づき事務を進めており、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 今後も核家族化や親子関係の希薄化等により、高齢者の権利擁護の問題は増えることが予想される。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 権利擁護の問題については、親族(家庭)が原因となることが多く、なかなか外部からは判断できないケースが多い。地域住民や民生委員等との密接な関係を作るうえからも、今後広報活動に力を入れる必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 高齢者の権利を擁護するためには廃止・休止はありえない。また、法整備も行われている。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 現在も児童虐待やDV対応の委員会と連携を行っている。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在の予算は、成年後見制度の審判に要する経費であり、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事例によっては緊急な対応が必要である。保健師・社会福祉士・介護支援専門員がチームを組んだ地域包括支援センターで実施することが現状ではベストと考える。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 高齢者の権利擁護を行うことであり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切。 ②有効性については、適切。 ③効率性については、適切。 ④公平性については、適切。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2)貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)